



社会医療法人社団 木下会

# 館山病院

Vol.1 2018年 1月 新春号

館山病院広報誌

発行：社会医療法人社団木下会 館山病院

〒294-0037 千葉県館山市長須賀 196

TEL.0470-22-1122 (代)

制作：館山病院 広報委員会

タテマガ編集室 (内線 725)

|    |     |                  |
|----|-----|------------------|
| 目次 | ①-④ | 新年のごあいさつ         |
|    | ⑤   | 朝礼スピーチ集          |
|    | ⑥   | News in Pictures |
|    | ⑦   | 医療講座 Close-up    |
|    | ⑧   | information      |

## Tateyama Hospital Magazine

# 謹賀新年

本年もよろしくお願い申し上げます

平成30年

新年のごあいさつ 館山病院 院長 竹内 信一

皆さん、明けましておめでとうございます。

平成 30 年の年頭にあたり院長として一言あいさつを述べさせていただきます。

館山病院は、明治 24 年 10 月 4 日創立以来 126 年の長きに亘って経過し病院の風貌は時代とともに変わりましたが、地域の皆様とともに歩んだ歴史や「支え」、「支え合う」地域の病院として活動してきた私達の志は連綿として変わらず現代に続いています。

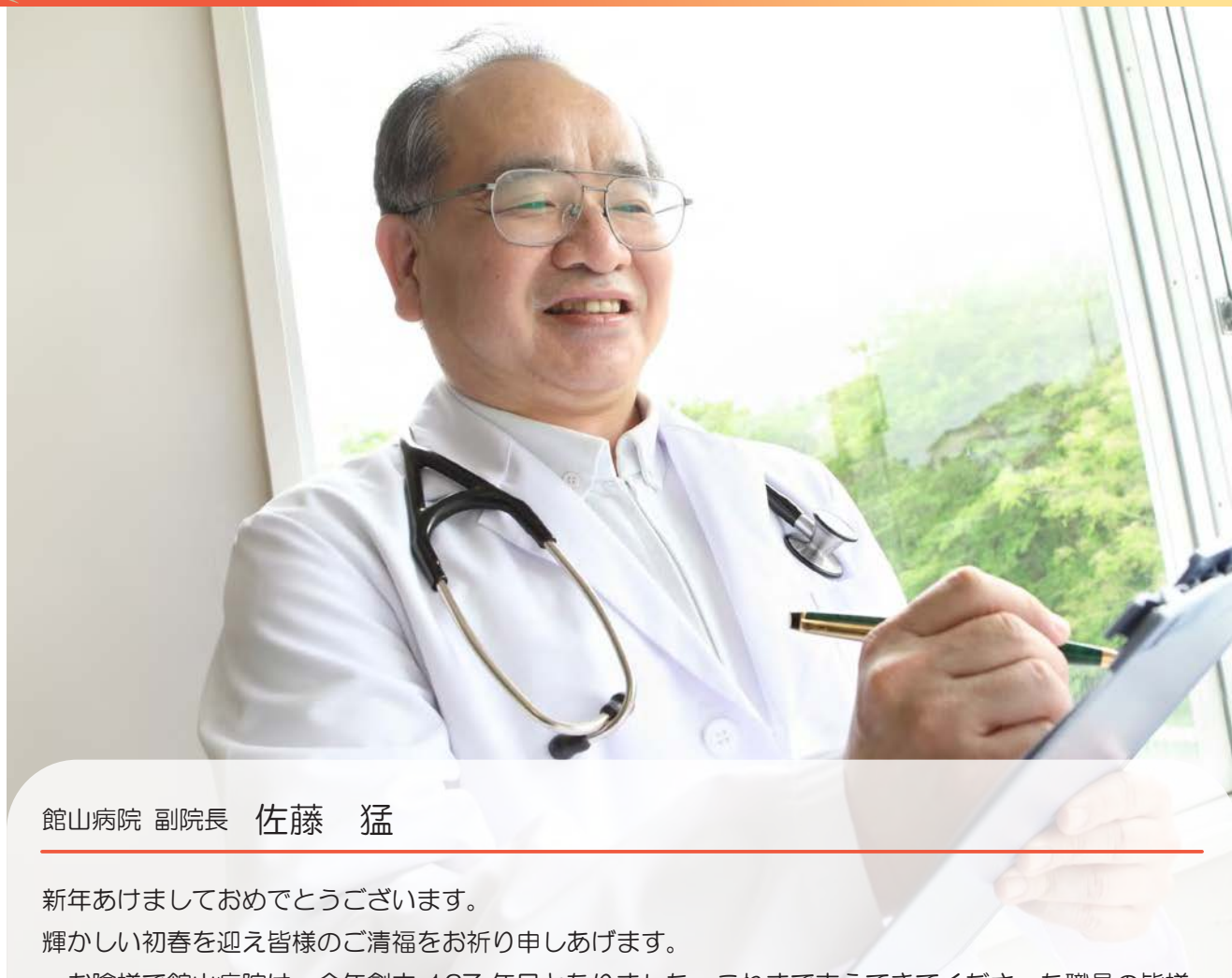
しかし、患者さんの療養環境や職員の労働環境の劣化は避け難く、近年、病院の新築移転は重大な課題であり、種々な理由から新たなる土地取得が必須でありました。

昨年 10 月、館山市内に購入した土地は、私達職員の悲願のスタートであり、新たな夢の実現・市民の皆様喜んでいただける病院建設プロジェクトが始まる今年が元年となります。

新病院のビジョンは中規模、地域密着型、ケアミックス病院のモデルとなることと同時に災害に強い病院を目指し、またコンセプトとしては周辺環境に調和した、緑豊かなガーデンホスピタル、周辺環境に配慮した施設、活力が溢れ、生き生きとした施設を目標にしたいと思っています。

今後、館山病院の 126 年の歴史は皆様方の心の中に留め、今年は館山病院元年として皆様と心をつなげて頑張っていきたいと思います。

新年のごあいさつ



館山病院 副院長 佐藤 猛

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい初春を迎え皆様のご清福をお祈り申し上げます。

お陰様で館山病院は、今年創立 127 年目となりました。これまで支えてきてくださった職員の皆様、また長年館山病院を利用いただいている地域住民の皆様には深く感謝いたしております。

私が赴任した当時は、館山病院の新築移転の話題はぼんやりとはありましたが、あまり現実味はありませんでした。しかし昨年より急速に新病院の建設予定の話が具体的となり、実際に土地の確保ができたのは、大変喜ばしいことだと思っています。それまでに費やした多大な時間・労力は、とても大変なことだったと思います。自分では正直言いますと、他人事とと思っていましたので、とても恥ずかしくてご尽力いただいた皆様には頭が下がる思いでいっぱいです。

今年からは館山病院は新病院に向かって色々な改革が必要な年と考えております。今までの 126 年の歴史は過去として記憶にとどめ、未来の新病院のためには竹内院長を筆頭に、全職員一同が創立元年と考え働きやすい職場環境に変革していきます。

2025 年以降は、高齢化に伴って医療現場の仕事は増えるのに、少子化の影響で働き手が減ります。人手が限られている中で、いかに効率的に医療を提供していくかが求められる時代となります。当院は急性期・リハビリ病棟としてこの地域と密着していく医療を目指しています。それには、今後はさらに医師、看護師、薬剤師、理学療法士との連携したチーム医療が必要となります。新病院ができるまでに何とかチーム医療の充実を図りたいと思います。

しかし、急激な環境の変化には必ずストレスがかかるものです。特に医療従事者は全職業の中で一番かかるといわれています。ストレスに負けないようにするには、気張らないけど決してあきらめない姿勢を維持しながら、地域の皆様に満足していただける医療をお届けできたらいいなと思っています。

本年も館山病院をよろしくお願いいたします。



“We believe then move the good faith”  
私達は信じる、そして、誠実に行動する



館山病院 看護部長 加藤 尚子

新年、あけましておめでとうございます。

明治 24 年 10 月 4 日に、地域の皆様の寄付により設立された館山病院は、まさに地域医療に貢献することを命として生まれた病院です。

126 年の歩みの中で、時代時代を反映した医療活動があり、地域の皆様や諸先輩の活躍の結果、現在に至っております。

昨年 10 月 24 日、新築移転先の土地を購入することができ、これからの館山病院の大きな目標を持つことができた職員の嬉しさが、身にしみて感じられます。

私達看護部は…

高い倫理感を基盤に 4 つの誠実を基本姿勢としています。

- ①患者様に誠実であること
- ②看護に誠実であること
- ③チームメートに誠実であること
- ④自分自身に誠実であること

これからの歩みは、今までよりも更に高い倫理感と誠実性を持ち、医療人としての誇りを高くかけ進んでいきましょう。その先にある夢を実現する為に！

この輝かしい 1 ページを開く為に、存在した私達仲間の力を信じ、そして互いに支え合い、かかんにチャレンジする年にしていまいりましょう。


 新年のごあいさつ

## 館山病院 事務長 阿曾 巖雄

明けましておめでとうございます。

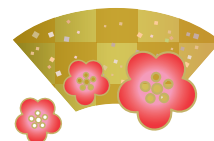
今年は、4月に診療報酬・介護報酬同時改定を控え、更に実質的な報酬が抑制される見込みです。社会保障・税一体化改革の一環である病床機能報告制度や地域医療構想への対応など、置かれている経営環境はますます厳しさを増すばかりです。

年始めから一気に気持ちが塞ぐような中、嬉しいニュースとしまして昨秋から暮れにかけて新病院建設予定地が入札を経て、無事に落札・契約を結び、正式に取得できたことです。今年は念願であった新病院建設に向けて、現実的に一步を踏み出す一年となります。具体的な新病院のビジョンはこれからですが、現在の建物及び設備が分散されていることから、非効率な医療サービスの提供となり、外来・入院患者様には多くのご不便をおかけしてまいりましたが、新病院建設により間違いなく改善することができます。よりよい療養環境の実現と更なる安心・安全な医療の質の向上を目指します。

館山病院は開設して126年になりますが、地域から望まれる医療を提供して、必要とされる病院をこれからも追求していきます。

私たちは“生命だけは平等だ”の理念の下で患者さん中心の医療と福祉を、ぶれることなく粛々と実践していきたいと思います。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



## 館山病院 副看護部長 家守 絹枝



明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

館山病院に入職して30数年が経ちましたが、長いようであつという間だったと思います。

入職したての頃は感染病棟・結核病棟などの木造の建物があり、病棟では面会室を簡易病室に多くの患者様が入院されていました。

外来待合室は外科・内科・産婦人科もあり、いつも座るところがないほど混み合っていました。

働きながら学ぶ学生も多くおり、色々なこと思い出されて「昔は良かったな」と思いますが医療・看護は日々進化しています。

私達看護師の基本姿勢である4つの誠実「患者様・医療（看護）・チームメイト・自分自身に誠実に行動する」の下に一丸となって邁進する所存です。

新病院建設・病院機能評価の受審のため実施すべきことが多々あると思いますが、館山市民の皆様にご喜んでもいただける病院建設に向け職員一同頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



おはようございます。Ⅱ号館の丹羽茜です。

館山病院に入職して半年が経ちました。目まぐるしい変化に日々ついていくことで、精一杯の毎日を送っています。

また、働く月日が経つにつれて責任感という言葉に重みを感じてきていることや、患者様の命を預かるという大事な仕事に就かせて頂いていること、毎日が勉強であり1日がとても早く感じます。看護師という職業はやりがいのある仕事だと思います。1年目ということで大変なことも多々ありますが、チューター、エルダーナースをはじめ、師長や病棟の先輩看護師の方に助けられて、ここまでやってこれていると私は強く思っています。先輩方はいつも私たち新人看護師のことを気かけ、私たちのためにカンファレンスを開いて頂いたり、新人一人ひとりに合わせた指導をしてくださりととても感謝しています。

また病棟自体の雰囲気良く、なんでも相談できる空気を作ってくださっていることも働きやすさの1つだと思っています。とても楽しい、そして頼りになる先輩がたくさん居てくださり安心して働いています。そんな先輩方のようなナースになりたいと、先輩方の技術、知識を見て感じて、自分自身に吸収していきたいと思っています。

看護師として患者様に寄り添うのは大前提ですが、1年目の今、まずは安全にそして事故を起こさないということを第一優先として日々精進していきたいと思っています。またチームの一員として1日でも早く皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思っています。最後に…私は顔が「怖い」とよく言われますが、口を開けばトンチンカンなことしか言いません。なので、見た目で判断せず気軽にお声をかけて頂ければと思います。

**朝礼スピーチ** 当院では毎週火曜日と木曜日の朝 8:30 から朝礼を行なっています。病院という職場なので、現場を離れられない職員も多数いますが、出られる人はできるだけ出るというルールになっています。部署の代表者が、医療に関することから自身の趣味まで自由なテーマでスピーチを述べています。その一部を皆様にご紹介させていただきます。

Ⅱ号館 2 階  
障害者病棟  
看護師  
丹羽 茜

①ドライブ(助手席より運転席派)、旅行(昨年より月1で旅行に行く) ②布団に入ったら「秒」で寝れる、車のテールランプで車種がわかる、バドミントン(大会に出場すると、パートナーにも恵まれ必ず賞をもらう) ③Happiness depends upon ourselves(幸せかどうかは自分次第) ④まだ出会っていない…

— Q&A ①趣味 ②特技 ③座右の銘 ④生き方や働き方で影響を受けた人 —



I号館 3 階  
回復期リハビリ病棟  
看護師  
韓 冬晴

#### 「高次脳機能障害について」

私にはずっとわからないことがあります。もともと優しいおじいちゃん、おばあちゃんなのになぜ急に猛獣のようになるのだらうという想いがありました。

ある日先輩が「こういう状況は「高次脳機能障害」という病気の可能性が高い」と教えてくれました。初めて病名を知った時はどんな病気が全くわかりませんでした。色々調べていく内に理解でき、脳損傷に起因する記憶力の障害、集中力や考える力の障害、異常行動、言葉の障害等、これらの障害を「高次脳機能障害」と呼ぶことを知りました。歳を取ると徐々に赤ん坊のようになり、赤ん坊の成長とは真逆な状態で、元々理解できることが理解できなくなり、できることもできなくなってしまうという人もいます。それは本人にとって悔しくて悲しいことであろうと思います。一番辛いのは患者様自身です。だから私たちは患者様に優しく接するべきだと考えます。暴言や暴行は病気によるものなので何も悪くないと思いますが、あまりにも続くとも辛くなり、患者様に対してつい注意してしまったこともありました。

どうすればストレスを溜めずに平常心で患者様に接することができるのかを考えていたところ、ある先輩が「仕事中は全ての個人的な気持ちを捨てて看護師としての責任を持つべき」と教えてくれました。患者様がどんな状態であっても優しく丁寧に接することができる、そんな看護師になれるようこれからも頑張りたいと思います。

①旅行、水泳、歌 ②日本語を話せること  
③日進日歩 ④相原琴子(漫画「イタズラなKISS」の主人公、彼女がきっかけで看護師になりました)



# 館山病院感謝祭特集



当日は天気にも恵まれ、約800人もの地域の方々にご来場及び出店等ご協力いただきありがとうございました。



オープニングセレモニー 館山小学校吹奏楽部



竹内院長 挨拶



健康友の会 平本会長 挨拶

「夢の病院をかいてみよう！」をテーマに367名の方がご応募いただき、ありがとうございました。



第6回館山市・南房総市・鋸南町小学生絵画展表彰式



沖縄伝統芸能 演舞  
“エイサー” 館山ダルク



ナース・ドクターに変身

福祉用具展示・試乗



無料健康チェック(頸動脈エコー検査、骨強度測定、健康相談等)



昨年を上回る140名の方にご来場いただきました。

※その他ステージや出店ございましたが、催し物は一部等、紙面の都合上抜粋させていただきました。



医療講座  
close-up

平成29年11月14日(火)、館山市の元気な広場にて、「予防接種のおはなし」と題し、館山病院 杉田 雅央 感染管理認定看護師が出張(依頼)医療講座を行い、20名ほどの方に参加いただいた。知人より「子供のインフルエンザワクチンは高いから、毎年1回で済ませていた」と伺い、「これではいけない!!」と認識したのがきっかけ。定期と任意を含めた数種類のワクチンについて、接種時期や回数、接種後の副作用などの説明を行う。種類によっては次のワクチンの接種まで一定の期間をあける必要があるため、スケジュールを接種医と立てることも重要。質疑応答、個別相談、ペンを取るなど受講者様の熱心な姿が伺えた。会場は、子供と一緒に時間を共有できる設備が整っているため、子育て世代の方には好評をいただいている。本講座は2回目となり、感染予防の啓発を目的として今後も継続的に開催する予定。



(左)唾液腺を出す体操

平成29年11月30日(木)、館山市長須賀のふれあいサロンプリンセスにて、「オーラルフレイル」家族で守る食と健康と題し、館山病院 歯科口腔外科 西尾 可苗 医師が出張(依頼)医療講座を行い、16名の方に参加いただいた。オーラルフレイル(口腔機能の低下や食の偏りなど、身体の衰え(フレイル)のひとつ)について、ささいなお口の機能の低下を軽視せずに日頃より予

(右)西尾医師、お口の体操を指導



防できる食事法や、唾液腺を出す体操、嚥下体操、むせた際に有効な嚥下おでこ体操を行った。積極的に参加いただき、会場は大変盛り上がり「自分だけじゃなく家族や友人に教えたい」、「わが身に起きている切実な内容で勉強になりました」などの声が寄せられた。

平成29年12月16日(土)、イオンタウン館山のコミュニティホールにて、「インフルエンザを予防しよう!」と題し、館山病院 杉田 雅央 感染管理認定看護師が医療講座を行い、12名の方に参加いただいた。安房地域で感染者が増加する本格的な流行時期に入る前に、家庭でできるインフルエンザの予防と対策、ワクチン接種の意義、合併症などについて説明を行う。また手指消毒の必要性についても手洗いチェッカー(ブラックライト)を使用し、手順にそった正しい方法を皆で実践する。館山病院では、今後もイオンタウン館山様と共催で医療講座を継続的に開催する予定。

正しい手指消毒が行えているかをチェック



館山病院では、皆さまが、健康で豊かな生活をお過ごしいただけますよう、当院の医師やスタッフによる医療全般に関する出張医療講座を開催しております。各種会合や研修会・町内会行事・婦人会・サークル等、地域の社会福祉活動・企業の職員研修や学校の保健教育などをお考えでしたら、ぜひ当院の出張医療講座をご活用ください。

健康づくり体操 / 肺炎の予防について / 認知症の予防について / 腰痛予防体操 / 糖尿病の予防について / 花柳症とその飲み薬について / 転倒予防教室 / インフルエンザの予防について / お薬の服用について / ロコモティブシンドロームの予防 / ノロウイルス対策について / ストレスについて / コグニサイズについて / 看取りについて / 夜間対応型訪問介護について / 熱中症の予防について / 睡眠時無呼吸症候群について / 骨粗しょう症について / 生活習慣病の予防について / 動脈硬化症について / 心肺蘇生法と AED の使用方法について

※上記以外にも、ご希望の講座内容がございましたらご相談ください。  
お申込みに関するお問合せは…地域連携課まで 0470-22-1122(代)(内線:725)

## 館山病院 医療講座

※オーラルフレイルとは  
口腔機能の軽微な低下や食の偏りなど、身体の衰え（フレイル）の一つです。

# オーラルフレイルについて

オーラルフレイルを予防して  
健康寿命をのばそう!!

講 師：館山病院 歯科・歯科口腔外科 医師 **西尾 可苗**  
日 時：2月15日（木）14:00～15:00（開場 13:30）  
場 所：イオンタウン館山 コミュニティホール



食について 考えよう ささいな衰えを見逃さず、良好なお口の機能を保つための、食と健康にまつわる話。  
オーラルフレイルの予防に効果的な体操 など

最新CT  
導入

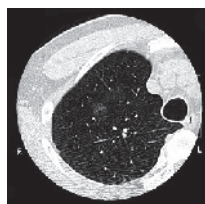


## 80列マルチスライスCTスキャナ

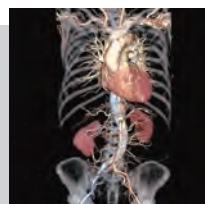
東芝メディカルシステムズ製

館山病院のCT装置で各種  
精密検査を実施しております

まずは受診にて医師にご相談ください



胸部・肺がん



腹部・大動脈瘤



心臓 冠動脈狭窄



当院ギャラリーにて  
展示作品を募集中!!  
あなたの作品で館山  
病院ギャラリーを  
飾ってみませんか。

問:0470-22-1122(代)  
地域連携課(内線725)

～癒しの空間～  
館山病院ギャラリーだより

～1月27日(土)まで  
竹原書道会展

土曜日、日曜日、祝日も開館しております。  
(開館時間:午前9時～午後4時30分)

※館山病院ギャラリーコーナーは  
ドック・健診センター先渡し廊下

